

文理探究科連絡協議会

東京学芸大学探究プロジェクトとの連携に関連して

東京学芸大学の日高先生が来校されました！！

令和5年1月27日（金）に、長崎県文理探究科連絡協議会と東京学芸大学との連携事業における授業研究会を開催しました。その後の授業の様子を参観するため、2月21日（火）に東京学芸大学の日高智彦准教授が来校されました。

授業者 大村高等学校 教諭 小林 詳梧

教科・科目 地歴公民 世界史 A

単元 「大航海時代」

内容 「現代社会において、私たちがコロンブスについて学ぶ意義とはなんだろうか？」というメイン・クエスチョンに対して、複数の資料を生徒に提示し、コロンブスについて、自分自身がどう評価するのか、グループ内での協議を通して、考えをまとめるという活動を行いました。

<日高先生からの講評>

前回の研究授業が生かされており、生徒も資料の意図を読み取りながら、授業が展開されていた。研究授業が単発で終わるのではなく、その後の授業改善につながっており、大変良かった。



写真 研究協議の様子

授業参観後の研究協議においても、活発な議論が展開されました。

大村高校は、SSH 事業を始め、様々な活動を通じて、「探究的な学び」につながる取組に取り組んでいきたいと考えています。